

ひよこ組 5月

園生活にも慣れ、探索を楽しんだり、興味のある玩具で遊んだりと穏やかに過ごしている子どもたち。時には友だちの元へ歩み寄り、同じ空間で遊びを楽しむ様子も見られます。

また、少しずつ生活のリズムも身に付き、エプロンを付けた保育教諭を見て食事の時間だと気づき、食事コーナーへ近づいていく姿や自分で歩いたり、ハイハイをして部屋からホールへ向かっていく姿が見られるようになってきましたよ。引き続き子どもたちが安心して過ごすことのできる環境を整え、見守っていききたいと思います。

これから日差しの暖かい日も多く、汗をかいて着替える機会も増えてくるかと思えます。着替えの補充などよろしく願います。

ホールで遊んでいます☆

室内遊びの他に、ホールで思い切り体を動かして遊ぶ時間を設けています。スロープやゲームボックス、ビリボなど様々な遊具を通してたくさん「楽しい!」「嬉しい!」を感じている姿も見られます。遊びの中で出来る動きも増え、のびのびと成長している姿を嬉しく思います。

将来大きくなった時の運動の基本姿勢は、寝返りや四つん這いの姿勢が大きく影響しているといわれています。一人ひとりの発達段階を見極め、それらの大切な動きを十分に経験できるように援助していききたいと思います。

例えばどんな動きに繋がるの?

◎寝返りの姿勢:体をねじる運動(野球のバットを振る等)走る、水泳のクロール

◎四つん這いの姿勢:スプーンを持つ、ハードルを跳ぶ、指先の運動(リコーダーの演奏等)



ビリボ



ゲームボックス



わらべうたについて

あかねこども園では「丁寧に」「一人ひとりを大切に」する保育を実現する為に岩手県の遠野というところで伝えられているわらべうたを取り入れています。遠野のわらべうたには子育ての知恵や大人になる人々を人として育てるための唄が込められており、大好きな大人が自分のために唄ってくれることで自己肯定感や安心感を育むことにも繋がります。わらべうたには様々な種類がありますが、その中でも子どもたちが現在楽しんでいるものを紹介します。ぜひご家庭でもやってみて下さいね♪



「かっこう えだあ」

「いないいないばあ」と同じ遊び方で楽しめます。「かっこう」と言いながら手や布で顔を隠し、「えだあ」でまた顔を出すわらべうたです。このわらべうたを通して、人がいない不安やそばにいる安心感から人を求めること、人を探す気持ちを育てます。また、かくれんぼにも繋がる遊びといわれています。